



気になるあの人に チューモク!! 5

校歌の謎を綿密に調査 研究発表会で日本一を獲得!

三野津中学校



(左から)三野津中学校2年の綾直弥さん、関隼人さん、田中遥基さん

文献と地形図をヒントに 現地調査を繰り返し返す

♪入り江も広き 良港の 昔を偲しのぶ 新田しんにでん♪

三野津中学校の校歌にはこのような歌詞があります。

「三野町はほとんど海に面していないのに、なぜ校歌では『良港』と歌われているのだろう?『新田』とは何のことだろうか?そう疑問に思っ3人で調べることになりました」

三野津中学校2年の綾直弥さん、関隼人さん、田中遥基さん

さんは、昨年7月から、2カ月間にわたり、校歌の謎を解明しようと調査に打ち込みました。調査では、三野町の歴史を町史で調べたり、町内約15地点の現地を確認したりしたほか、市の文化財担当者への聞き取り調査にも挑戦。

そうして調べた結果、古代には、現在の宗吉かわらの里展示館付近まで広がる大きな三野津湾があったことが分かりました。また、高瀬川の土砂が堆積して土地が広がり、江戸時代前半には開拓によって三野津湾が新田へと生まれ変わったことを知ります。

3人は、3月に東京で開催された「第17回全国中学校生徒地域研究発表会」で調査内容を発表。テーマの着眼点が評価されたことに加え、発表の練習を重ねてきた成果を発揮し、ステージ発表部門で見事1位を獲得しました。

次はGPS機能を使って、より正確な古代の海岸線マップを作りたいと話す3人。今後も地域の不思議解明に向けて意欲を見せてくれました。



▲3月28日、発表会の結果報告のため、市役所を訪れました



▲干拓によって水田となった土地を訪れ、地図で現在地を確認します



▲古代は宗吉瓦窯から近畿地方まで船で瓦を運んでいたことを聞き取りました

今年のお花見シーズン は天候に恵まれ、連日各所で満開の桜を堪能できました。さて、いよいよ「令和」の時代がやってきました。平成生まれの私としては、生まれ育った時代が終わるのは寂しい気もしますが、新時代にもとよでどんな新しいことに出会えるのか、期待が膨らみます。



「広報みとよ」をアプリで配信しています

スマートフォンやタブレット向けの無料アプリ「マチイロ」でも広報みとよをご覧ください。



※アプリは無料でダウンロードできますが、情報の受信には通信料が必要です。

▲アプリのダウンロードはこちらから

三豊市の人口

※平成31年4月1日現在 ()内は前月比 世帯数 23,114 世帯(+11) 総人口 62,951 人(-162) 男 30,212 人(-81) 女 32,739 人(-81) ※香川県人口移動調査による